

令和7年4月9日

新入生保護者の皆様

松江市立皆美が丘女子高等学校

校長 多々納 雄二

島根県育英会高等学校等奨学生（在学奨学生・緊急奨学生）およびその他の奨学生募集について

陽春の候 保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動につきましてご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、島根県育英会では、令和7年度4月に高等学校等に在学している生徒で、学習意欲が旺盛でありながら経済的理由により修学困難な島根県出身の人を対象に、奨学金の募集を行っています。募集の詳細は別紙パンフレットをご覧ください。申し込みは、各校で取りまとめることになっています。

つきましては、島根県育英会高等学校等奨学生に応募を希望される方は、5月9日（金）までに担当者（図書準備室 嘉藤）まで申し出るようお子様にお伝えください。申し込みに必要な書類をお渡します。

また、下の表は上記以外で、4月現在募集がある、高校在学中に利用できる奨学金の概要を掲載しております。応募を希望される場合や、詳しいことが聞きたい場合は、校内申し出期日までに担当（図書準備室 嘉藤）まで申し出るようお子様にお伝えください。

No.	奨学金の名称	校内申し出期間	金額	返還	補足
1	松江市ふるさと奨学生	～5月7日（水）	23,000 円 /月	あり	学校卒業後松江市内に居住する 意思を持つ人が対象。 （要項添付あり）
2	日本教育公務員弘済会 高等学校等給付奨学生	～4月30日（水）	15 万円 給付	なし	<u>本校で1名。</u> 校内選考あり。

本件に関する問い合わせ先
ヒューマンライツ部・奨学金係
担当 嘉藤 沢子
Tel 0852-39-0216

令和8年度 大学給付奨学生（予約型）募集要項 （令和7年度募集用）

公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部

1. 事業の概要

大学給付奨学生（予約型）は、公益財団法人日本教育公務員弘済会（以下「当会」という。）が「青少年の健全な育成に資するため、有為の大学生に対して奨学金の給付を行う事業です。令和7年度は、下記要項のとおり実施します。」

2. 給付要件

(1) 奨学金給付の趣旨

修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者に対して、返還義務のない奨学金を給付し、大学への進学及び修学の継続を支援します。

(2) 本事業が求める学生像

将来社会の発展に貢献したいという高い志のもと、自らの夢や目標を明確にもち、その実現に向け学び続ける人

(3) 応募（推薦）資格要件

奨学金を給付する募集対象者は、次の全ての要件を満たす者としてします。

① 島根県内の高等学校等の最終学年又は高等専門学校第3学年に在学し、全国の国公立大学（通信教育の学部・課程、短期大学、大学校は対象外）に進学を目指す生徒としてします。

高等学校等は、高等学校全日制課程・同定時制課程・同通信制課程、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部（高等特別支援学校を含む）、専修学校の高等課程及び当会が特に認める学校としてします。なお、広域通信制課程は募集対象外としてします。

② 家庭の事情により学費支弁困難（同一生計の合計所得金額400万円未満）と認められ、かつ修学意欲に富み、かつ学業を継続できると在学する高等学校等の校長の推薦を受けた生徒（※1校1名まで）としてします。

※ 推薦人数は、全日制・定時制・通信制の複数課程や本校・分校等の複数校地などを含めて学校全体で1名までとしてします。

③ 在学期間における全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の生徒、又は特別支援学校高等部にあつては校長が同程度の学力があると認める生徒としてします。

3. 募集人数 4名

4. 給付金額 奨学生一人に対し月額3万円を給付します。

5. 給付期間 在学する大学の正規の最短修業期間とし、上限を4年間としてします。

（4年制、6年制を問わず、入学1年目から4年目までを上限）

6. 交付時期 奨学金は、入学後の5月・7月・10月・1月に3か月分ずつ奨学生名義の口座に振込みます。（5月は4月～6月分を振込む）

7. 募集期間

令和7年5月1日 ～ 令和7年6月13日まで（郵送で提出、締切厳守、必着）

8. スケジュール

令和7年7月頃 第一次選考（書類選考）を行います。選考結果を支部長から在籍する校長に通知します。

令和7年

8月～9月頃 第二次選考（面接選考）を行います。

令和7年10月頃 選考結果を支部長から在籍する校長に通知し、高等学校等にて校長から生徒本人に「採用内定通知書」を手交します。

令和8年5月頃 大学の「在学証明書」により在学を確認した後、「採用決定通知書」を送付し送金を開始します（「在学証明書」が期日までに提出されない場合は、辞退されたものと見なします）。

9. 提出書類

(1) 応募時

- ① 大学給付奨学生（予約型）申請書
- ② 申請者情報及び身元保証人確認書
- ③ 個人情報の取扱いに関する同意書
- ④ 就学者を除く世帯全員の所得証明書（直近年度のもの・コピーでも可）
- ⑤ 大学給付奨学生（予約型）推薦書
- ⑥ 成績証明書（高等学校等の直近までの成績）

なお、直近までの成績証明書とは、高等学校等第2学年3学期までの成績とします。

(2) 採用内定後

(ア) 大学合格・進学決定後

- ① 大学入学予定届（合格後速やかに）

(イ) 大学入学後

- ① 進学した大学の在学証明書
- ② 「大学給付奨学生」誓約書
- ③ 大学給付奨学生金融機関口座振込依頼書

(3) 在学期間中

- ① 進捗状況報告書（学年毎）
- ② 在学証明書（学年毎）
- ③ 異動報告書（異動時）
- ④ 成果報告書（給付終了時）

※ (1)～(3)の提出書類は返却いたしません。

〈個人情報の取扱いについて〉

・申請書等に記入された個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用します。

10. 書類提出先（郵送で提出）

〒690-0887 松江市殿町33

公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部

TEL. 0852-24-1059

FAX. 0852-31-6089

11. 選考の基準及び選考の手順

(1) 選考の基準

- ① 給付の必要性1 在学校長の推薦書等に奨学生にふさわしい人物であると評価されていること
- ② 給付の必要性2 家庭の事情により学費支弁困難と認められること
- ③ 奨学生候補者の修学意欲 向上心に富み、かつ修学意欲が感じられること

(2) 選考の手順

＜第一次選考＞ 支部選考委員会による書類選考

- ① 申請書等による資格要件の確認
- ② 学費支弁の困難度の確認
- ③ 成績の確認
- ④ 修学意欲の確認

①～④の総合判定により募集人数に若干名を加えた人数を第二次選考対象者として選考します。

＜第二次選考＞ 第二次選考対象者を対象に、支部選考委員会による面接選考（原則、オンライン面接とします）

- ① 本人及び申請書記載事項の確認
- ② 修学意欲の確認

①～②により採用内定候補者（次点候補者含む）として選考し、本部に支部長名で推薦します。

12. 選考結果の通知

支部長の推薦を受け理事長が採用内定者（次点候補者含む）を決定します。

選考結果について、採用内定者には支部長から校長に通知するとともに、高等学校等において校長から生徒本人に「採用内定通知書」を手交します。なお、次点候補者には「次点候補者通知書」を、不採用者には「選考結果通知書」を校長から手交します。

次点候補者が不採用の場合には、校長にその旨通知するとともに申請者本人に「大学給付奨学生の選考結果（最終）について（お知らせ）」をもって通知します。

13. 取下届と辞退届

選考結果の通知より前に申請を取下げする場合には、校長が本人からの「取下届」に学校からの「取下届提出について」を添えて速やかに支部に提出します。

採用内定者が内定を辞退する場合（大学に入学しない場合を含む）には、校長が本人からの「辞退届」に学校からの「辞退届提出について」を添えて速やかに（遅くとも3月末までに）支部に提出します。採用内定者が大学に入学しない場合には、校長が速やかに本人からの辞退届を支部に提出します。

「辞退届」の提出を受けて支部は次点候補者に連絡し、奨学金の給付を受けるかどうか及び大学への入学の有無を確認します。次点候補者が給付奨学金を受ける場合には、校長にその旨通知するとともに申請者本人に「採用内定通知書」をもって通知します。

14. 奨学生の採用決定

理事長は採用内定者から提出された書類を確認し、採用を決定します。

その結果については、支部長を通じて校長にその旨通知するとともに本人に「採用決定通知書」をもって通知します。

15. 奨学生の採用決定後の義務

① 奨学生は、毎年度4月20日までに「在学証明書」・「進捗状況報告書」を支部長に提出します。

② 奨学生は、4年間の給付が終了する年度末までに「成果報告書」を支部長に提出します。

③ 奨学生又は身元保証人は、以下の場合に「異動報告書」を支部長に提出します。

ア 奨学生が休学、復学、転学、留年、留学又は退学したとき

イ 奨学生が停学、その他の処分を受けたとき

ウ 奨学生が死亡したとき

エ 奨学生が住所、電話番号、名前を変更したとき

④ 奨学生は、当会本部が実施するセミナー等に参加します（オンライン開催の場合もあります）。

16. 奨学金の返還と廃止

奨学生が次の事項のいずれかに該当したときは、既に給付した奨学金の全部又は一部を返還させることができることとし、以後の給付を廃止します。

① 奨学金を給付目的以外に使用したとき

② 偽りの申請その他不正な手段によって給付を受けたことが判明したとき

③ 休学、転学又は留年の理由が適切ではないと判断されたとき

④ 在学する大学で処分を受け、学籍を失ったとき

⑤ その他奨学生として適切ではないと判断されたとき

17. 奨学金の併用

当会の貸与奨学金及び他の企業・団体等の奨学金との併用も可とします。

18. その他

※採用・不採用の理由等については一切回答しません。

高等学校等奨学生の募集 在学奨学生・緊急奨学生

(公財)島根県育英会

令和7年度

島根県育英会では、「高等学校」・「高等専門学校(専攻科を除く)」・「専修学校高等課程」(以下「高等学校等」という)に在学し、奨学資金の貸与(無利子)を希望する人を募集します。

応募資格

令和7年4月に高等学校等に在学している生徒で、学習意欲が旺盛でありながら経済的理由により修学困難な島根県出身の人。

日本学生支援機構の奨学金(給付型を除く)、母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金又は就学支度資金、島根県高等学校定時制課程等修学奨励資金並びに特別支援教育就学奨励費との併用はできません。

1. 採用の種類及び募集人数

- ① 在学奨学生 **120名程度**
- ② 緊急奨学生 **必要に応じ応募できます。**

2. 貸与月額

区 分		国 公 立	私 立
奨 学 金	自 宅 通 学(月額)	18,000円	33,000円
	自 宅 外 通 学(月額)	23,000円	38,000円
入 学 支 度 金 (令和7年4月私立入学者のうち希望者・入学時1回のみ)		—	23,100円

3. 在学・緊急奨学生の申し込み方法等

区 分	在 学 奨 学 生	緊 急 奨 学 生
募 集 対 象	令和7年度高等学校等に在学している生徒	
募 集 期 間	令和7年4月25日(金)～ 各高等学校等が指定する締切日まで	随 時 受 付 (ただし、在学奨学生の募集締め切り後から受付開始)
応 募 方 法	募集期間内に必要書類を学校へ提出 〔奨学生願書〕は、各学校へ配布してあります。)	家計急変など緊急事態が生じた時(事由発生から1 年以内の場合)に相談の上、必要書類を学校へ提出
提 出 書 類	①奨学生願書 ②所得課税証明書(生計維持者(原則として父母(2名)))のもの。 ③金融機関口座届 ④校長推薦書(在学している学校が記入) *(緊急奨学生のみ) その他、家計急変の事由が分かる証明書が必要です。	
決 定 通 知	7月に各学校を通し本人へ通知	その都度、学校を通し本人へ通知
貸 与 期 間	令和7年4月から、卒業までの 最短修業年限の最終月まで	島根県育英会が定める月から卒業するまで の最短修業年限の最終月まで
返 還 方 法	返還誓約書で決めた割賦方法により貸与終了の翌月から数えて7か月目の月(3月 に終了した場合は10月)の5日が初回返還日です。毎月5日に月賦分を振替口座から 引き落としします。	

* 願書に記載されている個人情報については、島根県育英会の奨学資金業務のためにのみ利用するものであってその他の目的に使用することはありません。なお、採用、不採用にかかわらず提出された書類は返却しません。

連絡先

(公財)島根県育英会

松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター3階 TEL(0852) 28-1981

FAX(0852) 26-2089 URL <https://www.shimane-ikuei.or.jp> メールアドレス info@shimane-ikuei.or.jp